

# さざなみ



社会福祉法人 同愛記念病院財団

同愛記念病院

第36号 2016年1月

ホームページアドレス <http://www.doai.jp/>



健診センタースタッフ



検査中

病気予防には  
年に1度は人間ドック、  
健康診断を  
受診しましょう



採血の様子



問診中

## 健診センターのご紹介

健診センター医師 吉田 委子

平成27年4月より同愛記念病院健診センターに赴任致しました吉田委子です。よろしくお願いたします。

同愛記念病院健診センターは、平成20年5月、病院の管理棟3階に新たに健診用の施設として設立されて以来、半日ドック、1泊ドック、2泊ドック、一般健診等を専門的かつ効率的に実施しており、年間約6000人の方々にご利用いただいております。

わが国における三大死因である悪性新生物(がん)・心疾患・脳血管疾患は、40歳前後から急激に患うことが多くなり、全死因の6割近くを占めるようになっております。これらの疾患による死亡を減少させるためには、個人個人の健康に対する意識を高めなくてはなりません。

人間ドック・健康診断はご自身の健康状態を認識する最も有効な手段です。

心臓病や脳血管障害を引き起こすメタボリックシンドロームなどの生活習慣病を早期に発見することができ、その結果、早い段階からの治療により健康を保つことができます。また、胃がんや大腸がんについては、人間ドックで発見される7、8割が早期がんと報告されており、がんも早い時期に発見できれば完治可能です。

同愛記念病院健診センターでは地域医療に貢献し、皆様の健康増進に少しでもお役に立てばと願ひ、1年に1度の人間ドック、健康診断をお勧めしています。

### ●施設の特徴

受診者様の健診情報の継続管理を通し、人間ドックでは検査結果をできるだけ当日に説明し、必要に応じて生活指導を行い、生活習慣病の二次予防に力を入れております。病院併設のセンターですので、人間ドック・健康診断で異常が認められた場合のフォローアップが可能です。センターでも全科共通の電子カルテを使用

しておりますので、人間ドック・健康診断で実施した検査データ・画像を外来受診時に参照でき、スムーズな精密検査・治療を行います。

また、お忙しい方のために、午前中に検査が全て終了するように検査を組み込んでおり(人間ドックのオプションによっては後日再来していただく事もございます)、土曜日午前の受診も可能です。半日ドックよりもっと精密に検査を受けたい方には、病院近隣の第一ホテル両国に宿泊しながらの1泊ドック、2泊ドックもご用意しております。

健康診断結果報告書や所見の見方についてのパンフレットも定期的に見直し、受診者様が見やすく分かりやすいよう工夫しております。

### ●当センターで取り扱っている健康診断

宿泊ドック(1泊、2泊)、半日ドック、生活習慣病健診、定期健診、事業者健診、特定健診(被扶養者)、墨田区健診(墨田区国民保健健康診査、75歳以上健診)、墨田区胃がん検診(バリウムのみ)、墨田区大腸がん検診(便潜血のみ)

詳しい検査項目、オプション検査、料金については当センターにお気軽にお問い合わせください。当センターは完全予約制となっております。管理棟3階健診センターに直接お越しいただくか、お電話にてお早めにご予約ください(同愛記念病院の診察券をお持ちの方は、事前にご用意いただくとスムーズです)。

受付時間：月曜～金曜 13:00～16:30  
お問い合わせ先：03-3625-6038(代表)

ご利用くださる受診者様の健康管理のお役に立てるように、また1人ひとりにご満足いただけますように、質の高い健診を目指して今後ともさらに努力してまいります。

# 耳鼻咽喉科よりこんにちは

耳鼻咽喉科部長 齊藤 孝夫

## 今回は、耳鼻咽喉科の紹介です。

耳鼻咽喉科は、耳・鼻・口腔・咽頭・喉頭を対象とした診療科で、一言で言えば、首から上で眼と脳を除いた部分を対象としております。狭い領域ではありますが、難聴やめまいなどの神経性疾患、急性扁桃炎などの急性炎症性疾患、慢性副鼻腔炎などの慢性炎症性疾患、喉頭がんなどの腫瘍性疾患など、対象疾患は多岐にわたります。それらの治療では、耳鼻咽喉科が主体となることが基本ではありますが、眼科、神経内科、皮膚科、内科、小児科、外科、整形外科、婦人科、神経科および放射線科と、何らかの形で他の診療科との連携が必要となることも稀ではありません。ここでは、外来診療で最も多い訴えである『めまい』を取り上げます。

**耳疾患に由来する『めまい』**では、①眼が回り開眼できない ②頭を動かすと眼が回る ③耳がつまった感じや耳鳴りがする ④良くなったり悪くなったりを繰り返すなどの特徴があります。一方で、緊急処置を要する**脳梗塞や脳出血による『めまい』**では、①意識消失 ②発音がうまくできない ③ものが二重に見える ④片側性の手足顔面の痺れ ⑤突然の後頭部痛 ⑥ふらつきが強いために立てない、などの症状を伴うことが多く、これら諸症状は覚えておきましょう。また、『めまい』の中では『**立ちくらみ(急に立ち上がった際に、目の前が暗くなり体の力が抜ける)**』も多く、原因としては不整脈や低血圧、胃十二指腸潰瘍からの出血や子宮筋腫を原因とする貧血などが



挙げられます。背骨の変形や筋力の低下が原因となる『めまい』では、グラグラ・フラフラといった浮動性のめまいが主体となります。問診や診察、検査などの過程において、常に各診療科との連携を考える典型例です。

耳鼻咽喉科で対応している疾患には、慢性副鼻腔炎が原因と考えられる頭重感や慢性咳嗽、顔面神経麻痺、頸部腫瘍や睡眠時無呼吸など、意外と知られていないものも含まれております。『この症状は耳鼻科と関係があるのかしら』と思われることがございましたら、耳鼻咽喉科窓口的一声かけていただければと思います。

耳鼻咽喉科外来では医師3名を中心に、看護師、メディカルクラーク、検査技師が連携して診療に当たっております(写真参照)。一般外来は、月曜日から土曜日の午前中で、2医師体制で対応しております。原則的には外来予約制ですが、救急搬送の受け入れも行っており、また緊急処置や緊急入院が必要となる患者さんも来院されますので、お待ちいただくこともあります。ご理解いただけますようお願い致します。

外来診療に当たっては、言葉のみに頼らず視覚に訴え(画像、局所所見、検査結果)、より深い理解が得られる病状説明に心懸けると共に、最新のガイドラインに基づいた治療の提供を行ってまいります。より特殊な検査が望ましいと判断された場合は、その専門性に鑑み、他病院との連携の下ご紹介させていただくこともあります。

家族ぐるみで受診していただける診療科を目指し、スタッフ一同努力してまいります。



### 同愛記念病院の理念

同愛記念病院は地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

### 〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉403床

### ■交通案内

JR総武線 両国駅(西口)から徒歩7分  
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分  
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分  
●都営バス (錦糸町～大塚駅) 石原1丁目停留所から徒歩3分

当院では外来予約制です。

初診/(月～金)午前8時30分～正午(紹介状のある方は午後3時)  
(土) 午前8時30分～午前11時  
再診/ご予約のない方:自動再来受付機にて午前8時～正午  
次回のご予約は診察後にお申し込みください。  
休診日/日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



社会福祉法人 同愛記念病院財団

## 同愛記念病院

〒130-8587 東京都墨田区横網2丁目1番11号  
TEL. 03-3625-6381(代) FAX. 03-5608-3211

● 次回は2016年5月(第37号)発行予定になります。